

東京湾海況情報 R07-11

東京湾水質調査結果 (令和8年2月)
(令和8年2月25日発行)

千葉県水産総合研究センター
東京湾漁業研究所
〒293-0042 富津市小久保3091
TEL 0439-65-3071
千葉県農林水産技術会議

資料 水質調査 2/2 ふさなみ (内湾), 2/3 ふさみ丸 (内房海域), 関東・東海海況速報

2月2日, 3日にふさなみ, ふさみ丸で行った東京湾水質調査結果をお知らせします。

【水温・塩分】

表層水温は内湾で8~12℃, 内房海域で15~17℃と, 内湾は最近10年間の平均値並, 内房海域は平均値並~3℃高い状況でした。表層塩分は内湾で31~33, 内房海域で33~34と, 内湾は最近10年間の平均値並, 内房海域は平均値並~1高い状況でした (図1~3, 表1)。

東京湾口から沖合水 (高水温, 高塩分) が富津岬の南側まで波及していました (図3, 10)。

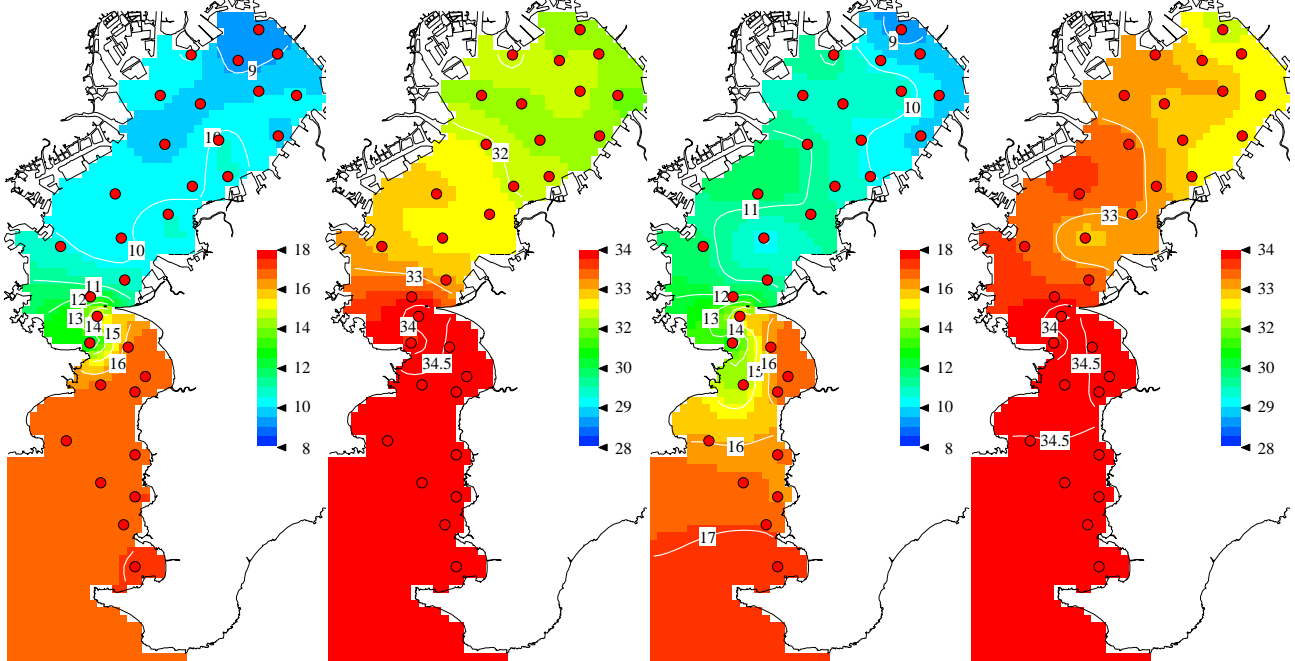


図1 表層の水温・塩分

図2 底層の水温・塩分

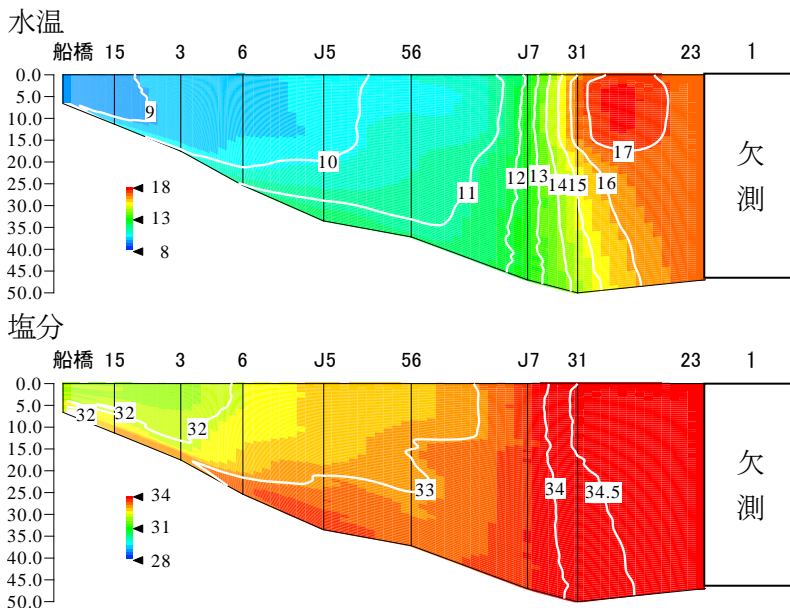


図3 縦断面の水温・塩分

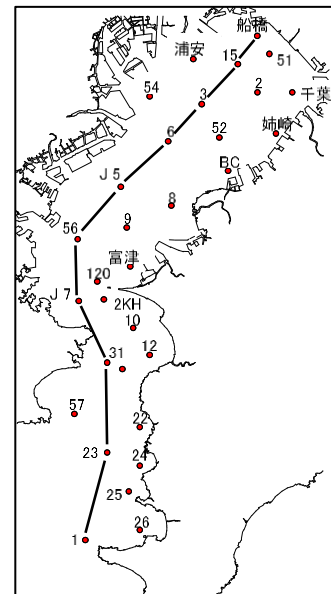


図4 水質調査点
(実線は調査ライン)

【赤潮】

透明度は内湾で 2.0～5.0 m, 内房海域で 5.0～14.0 m でした (図 5)。植物プランクトンの指標となるクロロフィル a 濃度は, 内湾で 5 µg/L 以下～23 µg/L, 内房海域で 5 µg/L 以下でした (図 6)。赤潮は確認されず, 内湾で小型珪藻のスケルトネマ属や大型珪藻のコシノディスカス属が多くみられました。

千葉県の赤潮の目安

色	オリーブ～褐色
酸素飽和度	150% 以上
透明度	1.5 m 以下
pH	8.5 以上
クロロフィル a	50 µg/L 以上

【貧酸素水塊】

貧酸素水塊はみられませんでした (図 7, 8)。

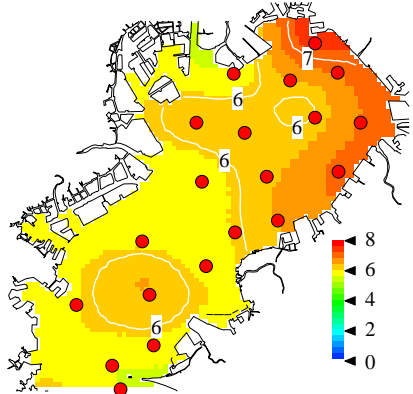


図 7 内湾底層の溶存酸素量 (ml/L)

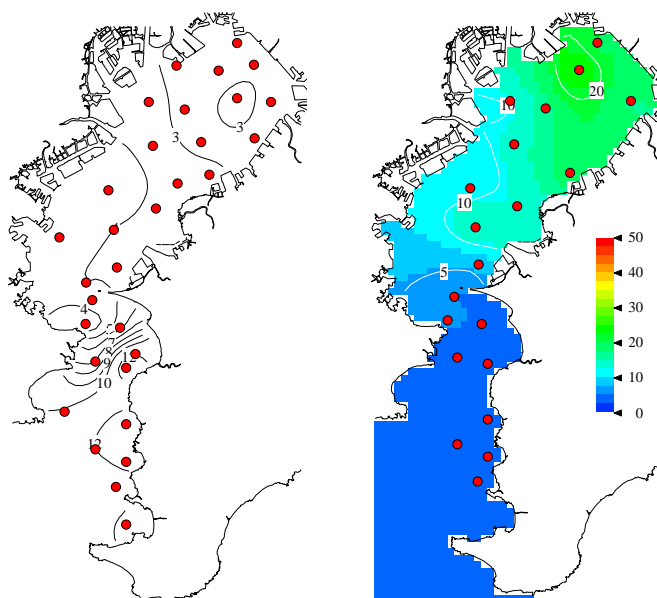


図 5 透明度

図 6 クロロフィル a 濃度

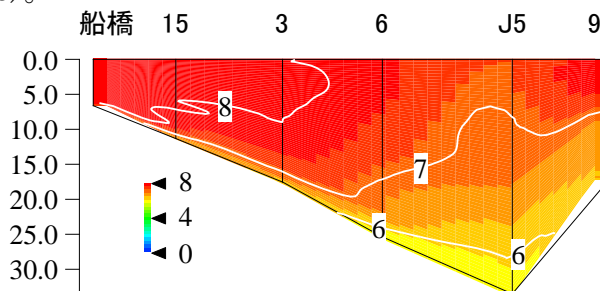


図 8 内湾縦断面の溶存酸素量 (ml/L)

貧酸素水の基準

溶存酸素量	2.5 ml/L 以下
酸素飽和度	50% 以下

【栄養塩】

表層の窒素 (DIN) は内湾で 238～534 µg/L, 内房海域で 76～105 µg/L でした。表層のリン (DIP) は内湾で 5 µg/L 以下～17 µg/L, 内房海域で 8 µg/L～11 µg/L でした (図 9)。

晴天が続いたため内湾で植物プランクトンが増殖し, また少雨であったことから内湾及び内房北部海域の窒素とリンは最近 10 年間の平均値より低くなっていました。なお, 内房南部海域は平年値並でした (表 1)。

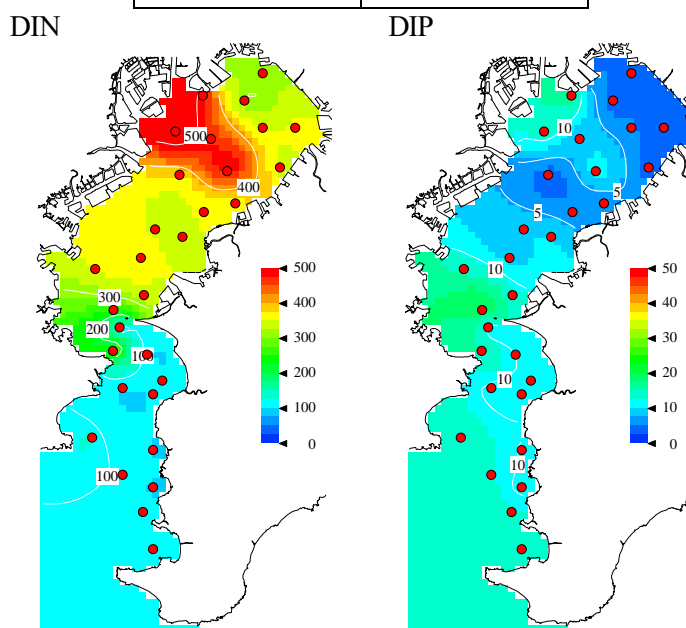


図 9 表層の栄養塩濃度 (µg/L)

【黒潮】

黒潮はC型流路でした。黒潮は外房から離岸しましたが、暖水が東京湾口に残っている状況でした(図10)。

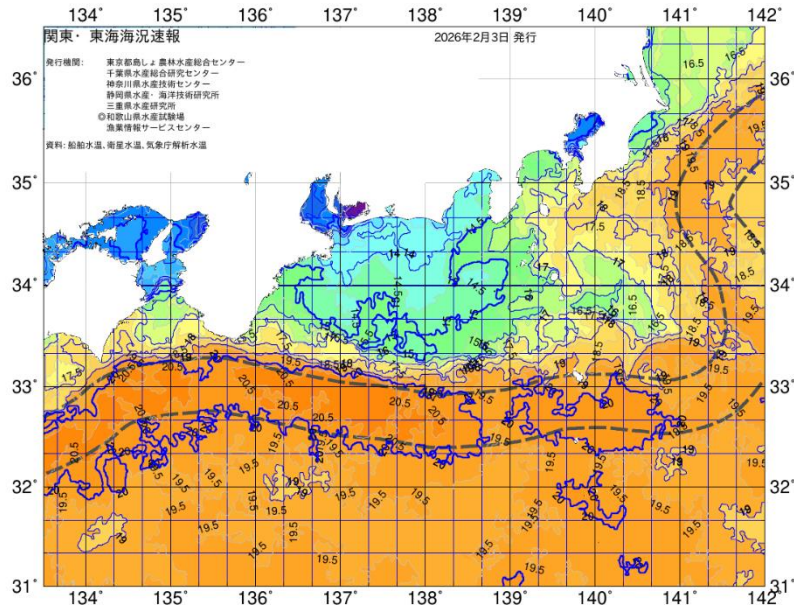


図10 黒潮の動き(令和8年2月3日)

表1 主な調査点の水質調査結果(表層, 溶存酸素量のみ底層)
():最近10年間の平均値(2016~2025年)

調査点	水温(°C)	塩分	透明度(m)	pH	溶存酸素量(ml/L)	アンモニア態窒素(μg/L)	溶存無機態窒素(μg/L)	リン酸態リン(μg/L)	クロロフィルa(μg/L)	
内湾	船橋	8.8 (9.2)	31.7 (31.6)	2.5 (3.5)	8.6 (8.4)	7.5 (7.4)	11.2 (26.5)	311.0 (406.5)	2.7 (9.8)	18.1
	st.15	8.8 (9.5)	31.8 (31.7)	2.0 (3.2)	8.5 (8.5)	6.4 (6.8)	10.8 (17.6)	307.3 (393.8)	1.9 (7.8)	23.0
	st.3	9.4 (9.8)	31.7 (31.9)	2.7 (4.5)	8.4 (8.4)	6.3 (6.4)	12.1 (29.5)	471.9 (442.0)	6.0 (11.8)	14.3
	st.6	9.4 (9.9)	32.1 (32.2)	3.5 (5.5)	8.4 (8.4)	5.7 (6.0)	12.4 (30.3)	369.5 (389.9)	1.5 (10.7)	11.8
	st.9	10.0 (10.4)	32.3 (32.4)	4.0 (5.6)	8.4 (8.4)	6.3 (6.3)	11.7 (32.7)	346.9 (383.4)	6.9 (13.1)	13.3
	st.BC (盤洲Cブイ)	10.1 (10.2)	31.9 (32.1)	3.2 (4.7)	8.5 (8.4)	6.3 (6.9)	11.9 (29.6)	349.6 (402.5)	3.4 (8.5)	/
	st.8 (盤洲A南)	10.1 (10.3)	32.4 (32.4)	3.8 (4.8)	8.4 (8.4)	5.7 (6.1)	16.5 (35.7)	337.7 (379.7)	7.9 (11.2)	10.6
	富津	10.3 (10.8)	32.8 (32.6)	3.7 (5.1)	8.1 (8.3)	6.0 (6.3)	17.7 (44.0)	327.7 (365.3)	11.7 (14.2)	5.8
内房海域	st.2KH (第2海ほ下)	15.6 (12.2)	34.5 (33.3)	5.0 (5.9)	/	5.4 (6.0)	14.5 (17.1)	80.4 (219.9)	8.6 (12.5)	2.5
	st.31	16.6 (15.7)	34.6 (34.3)	7.0 (12.7)	/	5.5 (5.4)	15.6 (5.9)	80.1 (105.6)	9.8 (10.7)	0.6
	st.23	16.6 (16.3)	34.7 (34.5)	12.0 (16.8)	/	5.1 (5.4)	31.7 (8.3)	95.0 (112.4)	10.7 (11.5)	0.4
	st.1	/								
	st.10 (下洲沖)	16.5 (14.3)	34.6 (34.0)	6.0 (8.7)	/	5.2 (5.9)	28.1 (9.7)	82.4 (144.9)	9.9 (11.3)	0.8
	st.12 (湊沖)	16.7 (15.2)	34.7 (34.3)	12.0 (9.7)	/	5.1 (5.8)	28.0 (5.4)	84.8 (91.6)	9.9 (10.1)	/
	st.22 (保田沖)	16.9 (16.5)	34.6 (34.3)	13.0 (14.6)	/	5.1 (5.5)	14.3 (4.0)	76.7 (72.5)	9.9 (9.5)	0.3
	st.24 (富山沖)	17.0 (16.6)	34.6 (34.6)	13.0 (17.2)	/	5.0 (5.4)	13.8 (3.8)	76.1 (73.5)	9.6 (9.9)	0.4
st.26 (館山湾内)	17.1 (16.8)	34.7 (34.6)	13.0 (17.3)	/	5.0 (5.4)	17.7 (2.6)	90.7 (71.6)	10.7 (9.4)	/	

注) ※ 透明度、pH、クロロフィルaの欄の橙色は赤潮の基準に、溶存酸素量の欄の青色は貧酸素水の基準に達していることを示します。